

2022年度事業実績報告書の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 尾張旭市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果						ABCD評価		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②	
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、事業資金融資等の金融相談、決算・確定申告の相談指導、労働保険等の相談指導、情報化支援相談、経営安定のための共済制度の促進等経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業実績550事業所 ・巡回窓口指導延件数1332件(うち創業支援2事業所26件)(うち非会員11事業所26件) ・課題解決提案件数30件 ・経営革新承認件数0件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 78.4%)	目標数値 1700	実績数値 1332	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	目標数値 30	実績数値 30	得られた効果 経営指導員等の商工会職員が地区内小規模事業者へ訪問、又は小規模事業者が商工会窓口へ来訪し経営に関する相談など、事業者が直面している、社会情勢の変化、給付金、補助金、資金繰り、販売促進、税務、労務等の様々な問題について親身になって相談指導を行うことにより経営改善に資することができた。	総合評価 A	事業実施評価 B	自己評価 満足度 A	調査結果 必要性 A	補足 一括アンケート回収106件	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	社会情勢の変化に関連する国庫市の施策活用が引き続き必要であった。相談指導にあたっては1事業所に関する時間が長くなってきているが、今後も気軽に相談できる信頼の支援機関となるように努める。
記帳継続指導	記帳指導職員を中心に商工会の職員が、個人事業主を対象に正しい記帳方法や決算・申告の指導を行い、適正な税務申告と経理処理による経営力の向上に結びつけていく。	・指導対象者数 74人 ・指導延日数 681日 ・指導延回数 740回	小規模事業者	指標 指導延回数 (達成度 105.7%)	目標数値 700	実績数値 740	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	個人で青色申告を選択している事業主を対象に、日常の記帳の仕方から決算書の作成に至るまでを、それぞれ業種・事業所にあった形で分かりやすく指導し、事業主が自ら記帳することにより経営内容を把握し、経営の安定化に繋がった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 満足度 A	調査結果 必要性 A	補足 一括アンケート回収106件	目標① 上げる	目標②	税務署と連携し、記帳継続指導会のパンフレットを配置し、新規申告者及び初めて青色申告を行う事業者を中心に記帳継続指導会及び記帳機械化対象者の募集を積極的に行っていく。
講習会	経営に関する様々な問題解決に対応するため、小規模事業者が必要な知識を習得することで、事業者の資力向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 集団 8回 104人 個別 20回 183人 計 28回 287人	小規模事業者	指標 講習会等受講者数 (達成度 168.8%)	目標数値 170	実績数値 287	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	経営に関する各分野に対する知識、情報等が取得でき、技術指導による知識の取得、向上が図られた。また、経営に対する考え方の見直しによる経費削減などの意識の向上も図られ、直接的な指導によるキメ細かなアドバイスを受けることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 満足度 A	調査結果 必要性 A	補足 一括アンケート回収106件	目標① 現行どおり	目標②	アフターコロナ講習会の開催を展開していく。
講習会(尾張旭市受託事業)	尾張旭市内商工業者の事業経営の問題点を解決し、事業の健全化を図るとともに、商工振興に寄与することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 (税務、法律、IT、労務) 個別 48回 67人	小規模事業者	指標 講習会等受講者数 (達成度 83.8%)	目標数値 80	実績数値 67	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	各分野の専門の先生と1対1で不明点を確認でき納得できる回答を得ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 満足度 A	調査結果 必要性 A	補足 一括アンケート回収106件	目標① 現行どおり	目標②	まだ空き時間帯もあるので周知して相談件数を増やしていきたい。
講習会(伴走型小規模事業者支援事業) ※事業計画策定支援	経営に不安を抱えている小規模事業者や、事業の拡大を希望する意欲ある小規模事業者を掘り起こす。また、小規模事業者には事業計画策定の重要性を理解してもらい、実現性の高い経営計画の策定に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 個別 4回 22人	小規模事業者	指標 講習会等受講者数 (達成度 146.7%)	目標数値 15	実績数値 22	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	経営計画の必要性を理解して頂き、記入に必要な内容などを学んでいただいた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 満足度 A	調査結果 必要性 A	補足 一括アンケート回収106件 個別アンケート21件	目標① 現行どおり	目標②	今後も経営計画作成の講習会を行っていき、実際に経営計画作成に繋げていく。
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するために、経営実態・地域景気動向・消費者動向などを把握する調査事業を実施する。	企業景況アンケートの回答事業所数は106事業所であり、業種別に建設業31事業所(29.3%)、製造業21事業所(19.8%)、卸小売業14事業所(13.2%)、飲食業10事業所(9.4%)、サービス業30事業所(28.3%)となっており、業種別にアンケート集計した。	小規模事業者	指標 回答回収件数 (達成度 70.7%)	目標数値 150	実績数値 106	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	「売上高」、「経営状況」、「資金繰り」、「設備投資」の4期を比較した結果、「売上高」、「経営状況」、「設備投資」については悪化傾向のポイントが増え、やはり厳しい状況にある。全業種において新型コロナウイルスの影響もあり、厳しい経営状況となっている。今回の調査結果を生かして、地域のニーズに沿った経営支援を行うことができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 満足度 C	調査結果 必要性 A	補足 一括アンケート回収106件	目標① 現行どおり	目標②	新型コロナウイルスの影響もあり回収率が下がっているが、今後は回収方法を見直して回収率を上げる。
福利厚生事業	①定期健康診断・生活習慣病検査の実施 定期健康診断・生活習慣病検査の実施が、労働基準法・労働安全衛生法等により義務付けられている。そうした中、特定健康診断・特定健康診断も導入され、事業主の従業員に対する健康管理責任が重くなってきている。商工会として各事業所の一助としての事業を実施するものである。 ②小規模企業者相互の交流と従業員間の交流を図り、雇用の持続的な安定と企業の健全な育成に資することを目的とする。	①検診日:10月31日から11月10日9日間で375名受診 検査項目 1) 定期健康診断:一般健診、胸部レントゲン、尿検査、心電図検査、血液検査等 2) 生活習慣病検査:胃検査、眼底検査(追加検査:肝臓検査、腎臓、痛風など) ②会員交流親睦旅行 35名	小規模事業者	指標 健康診断受診者数 (達成度 107.1%)	目標数値 350	実績数値 375	指標 参加人数 (達成度 43.8%)	目標数値 80	実績数値 35	①定期健康診断・生活習慣病検査を実施することにより、労働基準法・労働安全衛生法等を遵守し、特定健康診断・特定健康診断の導入により、事業主の従業員に対する健康管理責任を達成することができた。 ②3年ぶりの開催であったが、新型コロナウイルス感染の影響もあり、目標人員の参加数には満たなかったが、小規模企業者相互の交流は充分に図られた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 満足度 A	調査結果 必要性 A	補足 一括アンケート回収106件 個別アンケート35件	目標① 現行どおり	目標②	①年々新たな事業所の受診者が増える傾向にある。多くの従業員が受診できるように開催日や時間などを工夫して今後も継続して開催する。 ②会員交流事業として、好評を得ている事業であるため、今後も継続して開催していく。

2022年度事業実績報告書の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考							
				目標①		目標②		得られた効果				ABCD評価												
				指標	達成度	指標	達成度	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②									
労働保険事業	労働保険の各種手続きから保険料の申告・納付等、労働保険に関する作業を、事業主の委託を受けて事務代行を行い、小規模事業者の負担を軽減することを目的とする。	委託事業所数135件。 7・11・2月の3回に分けて保険料を納付した。	小規模事業者	指標	委託事業者数 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		労働保険に関する事務手続き及び納付手続き、雇用保険に関する事務手続きなど事業主の事務負担を軽減し労働保険料の納付を3回に分けることができた。 労災保険に加入することができない事業主やその家族も労災保険に加入できる特別加入を利用することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	A	一括アンケート回収106件	満足度	補足	目標①	目標②	経費削減のため自社にて手続きをする事業所が増えてきた。特別加入等事務組合のメリットを説明し少しでも委託事業所数を増やしていきたい。		
				目標数値	135	実績数値	135	目標数値	実績数値					A				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②			
				目標数値		実績数値		目標数値	実績数値					A				A	現行どおり					
雇用促進事業	優良従業員表彰事業は、永年にわたり地域産業に貢献した企業の従業員で勤務成績が優秀であって他の模範となる者を表彰し、今後一層の勤務意欲高揚に資することを目的とする。ひいては、事業所の発展に繋がるものである。	11月22日に表彰式を実施した。 表彰内容 ①市長賞：勤続年数20年以上・・・3名 ②県連会長賞：勤続年数15年以上・・・1名 ③県連支部長賞：勤続年数10年以上・・・2名 ④県連会長賞：勤続年数15年以上・・・2名 ⑤商工会長賞：勤続年数5年以上・・・33名	小規模事業者	指標	被表彰者数 (達成度 97.5%)		指標	(達成度 %)		功績があった従業員を表彰することで、勤労意欲の向上を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	A	一括アンケート回収106件	満足度	補足	目標①	目標②	従業員の定着や勤労意欲の向上を図る為に今後も継続して実施する。		
				目標数値	40	実績数値	39	目標数値	実績数値					A				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②			
				目標数値		実績数値		目標数値	実績数値					B				A	現行どおり					
部会・委員会	商業・工業・建設業等の各部会活動を行い、参加企業の発展に資することを目標とする。	〔幹事会・委員会開催回数/延出席者数〕 工業部会 4回/49人 建設部会 6回/58人 商業部会 18回/159人	小規模事業者	指標	参加延べ人数 (達成度 59.1%)		指標	(達成度 %)		感染防止対策をして、会員企業同士の情報交換・交流会を実施した。また新型コロナウイルスで中止となっていた講習会や産業祭りの参加など、従来の事業を開催することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	A	一括アンケート回収106件	満足度	補足	目標①	目標②	これまでの事業を振り返り、新しい事業や講習会の開催を実施する。		
				目標数値	450	実績数値	266	目標数値	実績数値					A				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②			
				目標数値		実績数値		目標数値	実績数値					C				A	現行どおり					
青年部・女性部	商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会や研修会を開催し、事業所の発展と振興を図る。また地域の発展に寄与する。	青年部 研修会 1回 24名 講習会 1回 22名 活動推進研修会 1回 10名 女性部 研修会・講習会 6回 74名 環境美化事業 6回 56名 地域振興事業 2回 23名	小規模事業者	指標	青年部講習会等の参加人数 (達成度 70.0%)		指標	女性部講習会等の参加人数 (達成度 127.5%)		コロナ禍のなか、できる範囲で研修事業を実施し、青年部員及び女性部員の資質向上を図ることができた。また、部員間の団結を深められた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	A	一括アンケート回収106件	満足度	補足	目標①	目標②	研修事業を通じて、青年部員及び女性部員の資質向上を図る。また、地域振興事業等の実施により地域社会の発展に寄与し、さらには、部員間の団結を深める。		
				目標数値	80	実績数値	56	目標数値	120					実績数値				153	A	必要性	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値						実績数値					B	A	現行どおり		現行どおり	
商店街・街づくり事業	地域の環境整備の一環として、市内の発展会等へ訪れる方に快適なショッピング環境を提供し、魅力ある街づくり、商業環境づくりを促進し活性化を図る。	街路灯管理 約500本の街路灯を維持管理し、店舗の広告宣伝及びライトアップによる防犯地域貢献としての事業を実施した。 通電基數313基を維持した。	小規模事業者	指標	街路灯設置基數(通電基數) (達成度 104.3%)		指標	(達成度 %)		街路灯を設置することで、店舗管理としてのイメージアップ効果となり、また事業所の看板を設置することで、事業所や発展会等のPRをすることができた。さらに、周辺を明るくすることで、地域住民への防犯にも役立っている。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	A	一括アンケート回収106件	満足度	補足	目標①	目標②	わずかではあるが新スポンサーが得られた。今後もPRし、新スポンサー確保に繋げる。		
				目標数値	300	実績数値	313	目標数値	実績数値					A				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②			
				目標数値		実績数値		目標数値	実績数値					A				A	現行どおり					
祭典事業	市民祭等を開催することで、その集客力を活かして地域の経済活動を促進する。また、小規模事業者に対しては、販売市へ出店することで売上増加を見込み、市内事業所への広告宣伝・PRに役立て、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	市民祭実施に伴う協賛及び販売市への出店(10月8日、9日開催) ・特別協賛 ……18企業 ・広告協賛 ……55企業 ・販売市(食の広場)……11企業 ・販売市(買物広場)……13企業 ・販売市(グルメコーナー)……5企業	小規模事業者	指標	協賛数 (達成度 104.3%)		指標	出店者数 (達成度 126.1%)		特別協賛及び広告協賛することにより、一般市民への周知を図り事業所PRに繋がった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	A	一括アンケート回収106件	満足度	補足	目標①	目標②	積極的に協賛していただけるよう、内容を工夫し協賛数を増やしていきたい。		
				目標数値	70	実績数値	73	目標数値	23					実績数値				29	A	必要性	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値						実績数値					A	A	現行どおり		現行どおり	
産業活性化事業	尾張旭市内の企業を中心として、「特産品」と「商品開発」の研究を行い、新たな市場へチャレンジすることによって企業の発展に役立てる。また、観光協会とタイアップし、地域の産業と観光産業の活性化を図り、観光振興事業として、市を訪れる観光客、市民の土産品の需要に応えるため、特産品を認定することにより観光産業に寄与する。	令和4年度に行われた特産品審査会において、認定された特産品に対し、今回認定期間(R5.4.1～R7.3.31)中に積極的に販売及びPRを行っていく。 ・PR方法：イベント等でのリーフレット配布、ホームページ、広報紙への掲載 ・販売方法：イベントなどでの出店 特産品推奨品目数：37	小規模事業者	指標	特産品認定数 (達成度 108.8%)		指標	(達成度 %)		市内外に対し、特産品の販路を拡大することで、売上げアップと利益還元に繋がった。 また、特産品を広くPRすることで、地域やお店の知名度を上げることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	A	一括アンケート回収106件	満足度	補足	目標①	目標②	観光協会と連携し、特産品ガイドを作成・配布し幅広くPR活動をしていきたい。		
				目標数値	34	実績数値	37	目標数値	実績数値					A				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②			
				目標数値		実績数値		目標数値	実績数値					A				A	現行どおり					

2022年度事業実績報告書の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考															
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価					目標①		目標②												
				指標	実績数値	達成度(%)	指標	実績数値	達成度(%)	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②	実施方法①	実施方法②											
情報化推進事業	毎月異なる施策記事及び商工会内部の部会活動記事等を商工会だよりに掲載する。施策記事に関しては経路に役立て、部会活動記事については部会等の魅力を知ってもらうことを目的とする。また、事業所のPRや地域振興事業に関する記事も掲載する。	商工会だより毎月発行・・・毎月異なる施策記事を掲載	小規模事業者	指標	発行回数 (達成度 100.0%)	12	実績数値	12	指標	(達成度 %)		実績数値		達成度		各種施策や補助金などについて会員事業所へ積極的に情報提供ができた。また、商工会の事業などについても幅広く知ってもらえた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	A	調査結果	満足度	A	補足	一括アンケート回収数106件	目標①	現行どおり	目標②	現行どおり	現行どおり	小規模事業者の役立つ情報を提供していく。必要に応じてページ配分を変更して、情報提供する。
若手後継者等育成事業	(1)若手後継者及び経営者育成講習会 目的：若手後継者及び経営者の育成 コロナ感染症で先行きが不安定な中、経営者には迅速で柔軟な対応が求められている。そのため、状況に応じてその都度若手青年部員同士で検討し、経営の改善や継続に必要と考えた講習を定期的に行っていく。 (2)(3)商工会青年部・女性部全国大会参加 目的：青年部・女性部指導者の資質向上 指導的立場の者が全国大会に参加することにより、全国各地の先進活動事例等に対する知見を深め、今後の青年部・女性部活動の活性化を図る。また、交流会などで他県の部員などの情報交換も可能であるため、今後の青年部・女性部活動の活性化と部員の成長に役立てる事を目的とする。 (共同)東尾張支部商工会女性部 活動推進研修会 商工会女性部は、地域振興発展の力強い協力者・推進者となるべく、使命感を持って、組織活性化の原動力となるとともに、社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となる必要がある。そのため、今般、東尾張支部商工会女性部部員を対象にセミナーを開催し、商工女性として必要な幅広い知識の習得と、女性部活動の推進を担う組織リーダーとしての意識高揚、指導力醸成を図り、もって地域商工業の持続的発展に寄与する。	(1)若手後継者及び経営者育成講習会の具体的内容 1.SNS勉強会 開催日：令和4年8月3日 参加人数：22名 2.資産形成勉強会 開催日：令和4年9月1日 参加人数：24名 3.冠婚葬祭マナー勉強会 開催日：令和5年1月16日 参加人数：21名 (2)(3)商工会青年部・女性部全国大会参加の具体的内容 第22回商工会青年部全国大会への参加 開催日：令和4年11月15・16日 開催場所：熊本城ホール 参加予定者：青年部長1名、副部長2名 商工会女性部全国大会参加 実施時期：令和4年10月25日(火) 実施会場：仙台国際センター(宮城県仙台市) 参加人数：3名(女性部正副部長等) (共同)東尾張支部商工会女性部 活動推進研修会 開催時期：令和5年2月1日 参加者数：61人(セミナー全体の参加者数)	小規模事業者	指標	(1)講習会参加者数 (達成度 83.8%)	80	実績数値	67	指標	研修会・セミナー参加者満足度 目標値(満足・どちらかといえば満足の割合) (達成度 12500.0%)	80%	実績数値	100	1.インスタグラムの特性を学び、効果的なハッシュタグの付け方やプロフィールの作り方、印象付けのポイントなど今後の社業に活かせるよう、実践も交えて学んだ。 2.資産形成についてリスクや方法など幅広い視点で講義いただき、将来への不安に対し今からできることなどを学ぶことができた。青年部員の中にも若い従業員等を抱える事業者も多く、従業員の育成としても有益な研修となった。 3.普段から頻繁にあることではないため、知っているようで知らないことや、NGワード・行為を学び、会社の経営者としていざという時に恥をかいたり、失礼に当たらないようにしっかりとマナーを身に付けることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	A	調査結果	満足度	A	補足		目標①	下げる	目標②	現行どおり	実施方法①	実施方法②	青年部員が中心となり、若手後継者や経営者の資質向上に繋がる講習会を開催していく。また、青年部全国大会にも参加し、全国での様々な事例を学び、企業の発展に繋げる。女性部全国大会に参加し、全国での様々な事例を聞き、女性部及び企業の発展に繋げる。	
創業支援事業	創業予定者に対してより専門的な支援を行っていくため、尾張旭市、瀬戸信用金庫、日本政策金融公庫と連携して支援体制を構築し、支援を行っていく。	・ワンストップ相談窓口の開設 創業予定者相談回数延べ20件 ・創業セミナーの開催 5回 延24名(経営、財務、人材育成、販路開拓)	創業予定者	指標	ワンストップ相談窓口相談回数 (達成度 400.0%)	5	実績数値	20	指標	創業セミナー参加者数 (達成度 480.0%)	5	実績数値	24	創業を支援する上で、他の支援機関と支援ネットワークを構築し、効果的な支援を行うことができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	A	調査結果	満足度	A	補足		目標①	現行どおり	目標②	現行どおり	来年度以降も、多くの創業者の相談やセミナー後のフォローアップができるような体制作りを行う。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。